渋川市中心市街地活性化プラン

◇概要版◇

日本のまんなか で べ そ プラン





■計画の位置づけ

『中心市街地の活性化』は、平成21年度か らスタートした総合計画・基本構想における3 つの重点プロジェクトの 1 つに位置づけられ ており、本計画はそれらを推進するための実行 計画となります。

本計画は国による改正中心市街地活性化法 (平成18年8月22日より施行)に基づく基本 計画の認定を目指すものではなく、渋川市独自 の実効性のあるプランとします。

■計画の目標期間

本計画は、平成 21 年 4 月から 10 年間を 目標期間とします。

本計画で位置づけるプロジェクトの実現期間 を「前期」(3年以内に着手)、「中期」(4~7 年以内に着手)、「後期」(8~10年以内に着 手)の3つに分け、概ね3年で見直すことを想 定します。

■計画の策定体制

公募市民や各種団体の被推薦者からなる 「ワーキンググループ」を設置し、活性化プラ ンの主たる検討を行いました。また、各種団体 の代表や学識経験者などからなる「策定委員会」 を設置し、ワーキンググループでの検討結果を 審議し、体系的なまとめを行いました。

■計画の構成

本計画では、昨年度に実施した「渋川市中心 心市街地の現状・課題を整理しました。

これらを踏まえ、中心市街地活性化のための 「まちづくりのコンセプト」と 10 年後に目指 す「将来像」を設定し、この将来像を実現する

さらに、これらの活性化の目標を実現するた めに、目標ごとに「取組方針」と「プロジェク ト」を設定しました。

最後に、プロジェクトを実現するための推進 方策として「推進体制」、「アシスト事業」、

まちづくり コンセプト

(現状)

へこんだ

へそ

で

ベ

(将来)

(将来) 出っ張った

将来像

息づ

ま

都

市機能

地域

資源、

人が

息づ

推進体制

活性化の目標

取組方針

プロジェクト

まちなか居住

の推進

コミュニティ 機能の充実

①まちなか居住促進プロジェクト

地権者・事業者による住宅建設の促進やまちな かへの住み替え世帯等に支援を行う。

空き地を公園(花壇)として整備し、管理を地

4)商店街交流広場プロジェクト

②まちなかマーケットプロジェクト

空き店舗等を活用して、子供からお年寄りまで が遊べたり、交流できる場をつくる。

空き地や空き店舗に生活品等を扱う店舗を誘致

し、店舗が集積したマーケットを整備する。

域住民が実施することで交流の場とする。

③地域で育むミニ公園プロジェクト

⑤屋台村プロジェクト 市民・観光客を取り込む屋台村を整備し、賑わ いをつくる。屋台村はまた起業の場にもなる。

⑥「改めまして」商店街PRプロジェクト

住民や観光客が商店街のお店を知ってもらい、 足を運ぶキッカケづくりとする。

商店街の 再生

⑦楽々バスプロジェクト

公共交通の充実によって、地域住民(特に交通 弱者)の足を確保し、来街者の増加をはかる。

⑧来街者用まちなか駐車場プロジェクト

買い物客や観光客のために駐車場を整備し、利 便性の向上による集客を促す。

交通機能の 充実

⑨アートのまちプロジェクト 渋川の特徴であるアートをテーマにした景観形 成を進め、歩いて楽しいまちへの転換をはかる。

⑩しぶかわの名物づくりプロジェクト

渋川市の地域資源にこだわった新たな特産品の 開発を進め、中心市街地を販売拠点とする。

【目標 2】 地域ブランド 生み出す ~いきいき~

地域資源を活用した 新たな地域ビジネス 創造の場

【基本視点】

つながる

~しぶかわ大好き~

地域の多様な連携に

よって、新たな価値

を生み出す場の創造

【目標1】

暮らす

~ほのぼの~

様々な人々が

まちなかで安全に

暮らせる場

の新規創出

推進

情報発信

地域セールス

創業支援 人材育成

印まちづくりカフェプロジェクト

まちづくりを考える人が集う交流の場を設け、 地域のまちづくりへの関心を高める。

⑩まちなか創業支援プロジェクト

地域に貢献する様々な産業の育成・誘致をはか り、まちなかに新たな活力を生み出す。

【目標3】 誘(いざな)う

アシスト

~くるくる~

歴史や風土を感じる 新たな交流の場

③歩くまちプロジェクト 都市型観光の

多くの人達が休日のまちなかを歩くウォーキン グイベントを開催し、活性化につなげる。

仰まちなかガイドプロジェクト

散策ルートの設定やまちなかMAPを作成する。 また、観光ガイドの強化をはかる。

⑤しぶかわPRプロジェクト

推進方策

周辺地区の観光拠点等とのネットワークを強め、 まちなかに立ち寄る機会を増やす。

⑥観光プラザプロジェクト

渋川駅周辺に観光拠点を整備し、商店街への波 及効果や周辺観光地への展開をはかる。

市街地活性化推進基本構想基礎調査」に基づい て、中心市街地の位置および区域を設定し、中

ための「活性化の目標」を定めました。

「進行・管理」を定めました。

推進委員会 (策定委員会の衣替え)

推進プロジェクトチーム

【第2段階】

【第1段階】

本格的な事業機関

●空き地・空き店舗の情報支援事業

情報収集を行い、利用可能な物件について、 情報発信を行う。

❷あきんど支援事業

商業活動を行う事業者・団体に対して、事 業費の補助等活動を支援する。

おまちづくり活動団体支援事業 まちづくり活動を行う団体に対して、事業 費の補助等活動を支援する。

●渋川ネイブルスクエア利活用事業

市民の要望や意見をもとに、周辺公有地の 活用方法、社会情勢等を勘案しながら、四 ツ角周辺土地区画整理事業の進捗状況に あわせた中間的な活用を行う。

6(参考)土地利用コントロール事業

中心市街地活性化の事業効果を高めるた めに、全市における総合的な土地利用の規 制・誘導手法を検討する。

進行

管理

実施内容の 市民への周 知・PR

年次報告書

の作成